

地域教育
情報紙 (28年度)
第6号

颯とあそび

平成29年3月2日発行
《担当》 富士・東部教育事務所
地域教育支援スタッフ
小林誠二・渡邊 聡・長田 茂

『颯とあそび』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841

特別支援教育体制強化事業 !!

第2回東部地区特別支援連携協議会ならびにやまびこ支援学校公開研究会 「やまびこ特別支援教育ミニフォーラム」開かれる

東部地区特別支援連携協議会(会長：藤川健やまびこ支援学校長)では、2月16日(木)に第2回目の会合を、やまびこ支援学校において開催しました。東部地区特別支援連携協議会はやまびこ支援学校が中心となって山梨県東部地区(大月市、都留市、上野原市、丹波山村、小菅村、道志村)の教育、保健、福祉の関係機関の皆様にお集まりいただき、運営を行っています。およそ30名の委員の方々に参加していただき、共生社会構築に向けての各市村の取り組みや課題について情報交換を行う良い機会となっています。



当日は、公開研究会「やまびこ特別支援教育ミニフォーラム」が県内教育関係者と同校教職員も参加し行われました。やまびこ支援学校の研究概要報告、各研究グループのポスター形式による成果発表、自作教材教具展示がありました。各ブースにおいては、発表者からの説明を聞き、活発に質疑応答や意見交換が行われました。また、県教育委員会 相山洋幸先生、都留文科大学 堤英俊先生より指導助言を頂き、短時間でも実りのある研究会となりました。

地域の青少年支援を目指すネットワークづくり！！

南都留教育相談ネットワーク会議



南都留地域推進連絡協議会(会長：三井恵司下吉田中学校長)では、平成29年2月1日(水)に「第3回南都留教育相談ネットワーク会議」を、南都留合同庁舎大会議室において開催しました。今回は、やまびこ支援学校相談支援部コーディネーター 上條三貴先生と、都留児童相談所児童虐待対策幹渡辺尚実先生の業務説明と事例発表をもとに、研究協議が行われました。

上條先生の実践発表では、やまびこ支援学校のセンター的機能における教育相談や訪問支援・研究支援等の地域支援活動の報告につづいて、具体的な相談事例を用いて、発達障害の児童生徒への対応方法について説明されました。また、渡辺先生からは、児童相談所の業務、昨年度の県内における児童虐待相談の状況、児童福祉法の改正、児童虐待の定義、虐待の子どもへの影響、虐待の早期発見の方策、について説明されました。各相談機関からは、それぞれが抱えている課題などの情報も提供され、活発な意見交換がなされました。地域をはじめ各機関のネットワークの必要性を再確認する有意義な会議となりました。

まなびの活用をめざした！！

山梨ことぶき勸学院 学習活動全体発表会



[南都留教室の発表]

山梨ことぶき勸学院では、1月27日(金)に学習活動全体発表会を開催しました。当日は、都留拠点の南都留教室・北都留教室を含む県内6つの教室に通う勸学院生がコラニー文化ホールに集い、各教室の代表者によって今年度の学習の成果や活動状況が発表されました。

南都留教室では、代表6名により「郡内織物」をテーマとして、郷土を支えてきた地域の産業である「郡内織物」の二千年に及ぶ歴史。そして、複雑多岐にわたる生産工程について学習を深め、その成果を発表しました。また、北都留教室

では、代表6名により「新たな絆で地域貢献」と題して、勸学院で出会った仲間との絆の構築の過程とその絆を生かして奉仕活動や授業支援などを行い、地域の小学校と双方向の交流が編まれていった様子を発表しました。

山梨ことぶき勸学院では3月17日(金)の卒業式をもって、今年度の学習課程を終了します。現在、来年度の受講者を募集しています。詳しい内容・問い合わせは、下記連絡先までお願いします。



[北都留教室の発表]

☆願書の配付・受付 富士・東部教育事務所

☆問合せ先

山梨県教育庁社会教育課成人・家庭教育担当 0555-23-1772

または 富士・東部教育事務所内 都留拠点 0554-45-7335

ふじざくら支援学校

公開研究会



県立ふじざくら支援学校(下倉史彦校長)では、平成26・27年度、県教育委員会から「合理的配慮実践研究事業」の指定を受け、「インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援学校の授業における『合理的配慮』に係る実践的研究」をテーマに研究し、公開研究会が開催されました。本年度平成28年度には、昨年度までの研究成果を継承し『児童生徒に即した合理的配慮を視点とする指導の実際～「ふじざくらの実践」より各教科等の指導場面～』をテーマとして研究活動に取り組んできました。

1月26日(木)には「平成28年度公開研究会」を開催し、地域に向けて研究成果の報告がありました。公開授業では、小学部・中学部・高等部全てのクラスの授業を公開し、一人ひとりの確実な学習の定着を図るために、綿密な計画のもと、丁寧に工夫された授業が展開されました。午後からの研究協議会では、各学部から1例ずつ「集団授業における個への合理的配慮」という視点に基づいて具体的な実践事例の紹介がありました。指導助言者である山梨大学の吉井勘人先生からは、「実態把握に基づいた環境整備や教材教具、支援ツール等の工夫は、合理的配慮の考えを具体化している」と評価されました。参加した先生方や保護者の方からは、「合理的配慮の考え方や実際を知ることができた」と感想が聞かれました。



「明日の風」

～より速く より高く より強く～ アスリート実技講習会



「明日の風」アスリートクラブおよび北都留地域教育推進連絡協議会(会長：江口英雄上野原市長)主催「第6回 明日の風アスリート実技講習会」は、2月25日(土)に大月市勤労センター体育館で開催されました。3ヶ月ぶりの講習会でしたが、地元の小中学生約40名が参加しました。

ウォーミングアップ後、グループに分かれボールを使っての体作り、走りの動き作りを行いました。それぞれの運動の「動き」を確認しながら、基本を中心としたトレーニングとなりました。次に、体力測定を5種目実施。小

中学生は指導者のアドバイスを熱心に聞きながら測定に励む一方、常に笑顔と歓声が絶えない講習会となり、みな陸上を楽しんでいる様子が伝わってきました。また、最後に交流リレーも行われ、とても充実した一日となりました。

今年度もたくさん子どもたちが、「アスリート実技講習会」を通して貴重な経験をすることができました。子どもたちにとっては、技術を向上させることができたとともに、他の小学校の仲間や中学生の先輩との交流の場にもなりました。ぜひ来年度も多くの方に参加していただき、たくさんのことを楽しく学んでほしいと願っています。



シオジ森の学校 講演会

「鹿の食害から森を守る」



シオジ森の学校(下澤直幸校長)では、2月19日(土)に北都留教育会館において、山梨県森林総合研究所主任研究員の長池卓男氏を講師に迎え「鹿の食害から森を守る」講演会を開催しました。

当日は小学生から一般の方まで、スタッフを含め25名が参加。講師からは①ニホンジカの基礎知識②楡形山の事例③ニホンジカとどうつきあうか等の内容を中心に講演をしていただきました。講演の後、シオジの森を鹿の食害から守るために、少しでも有効な手立てはないかと活発な質疑応答がなされ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

《「シオジ森の学校」オープンキャンパス 開催》

1. 日 時 平成29年4月16日(日) 午後1時30分～
2. 場 所 大月市民会館3階講堂
3. 内 容 ・シオジ森の学校講座の紹介 ・ミニコンサート ・森のクラフト
森の先生のお話会「シオジの森の仲間たち」 石原誠先生

グローバル・リーダーの育成 富士北麓地域から世界へ！！

富士河口湖高等学校 SGH アソシエイト校 成果発表会



富士河口湖高等学校(小石川正文校長)では、1月25日(水)に富士河口湖町中央公民館において、文部科学省のSGH(スーパーグローバルハイスクール)アソシエイト校として取り組んだ「成果発表会」を開催しました。

当日は、1年生が総合的な学習の時間の取組について発表。総合的な学習の時間では、国際的な社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決能力等を身につけ、将来国際的に活躍できる人材(グローバル・リーダー)の育成に取り組んでいます。4月に地域

課題(テーマ)について①安全防災②人口減少③富士西麓活性化④環境保全⑤国際交流⑥観光振興⑦文化教育⑧社会福祉の8グループに分かれ、それぞれを4つの班に編成し、探究学習を開始しました。

成果発表会では、それぞれの班から課題設定の理由、その解決方法、提案(まとめ)、今後の課題が発表されました。いずれの班も発表方法や話し方など工夫を凝らしていました。発表後には、多くの意見が活発に出され、中身の濃い発表会でした。



年長児が小学校の授業を体験 !!

鳴沢保育所・鳴沢小学校の交流活動

年長さんを迎える会



鳴沢小学校（中野金男校長）では、2月20日(月)に来入児を招待して「年長さんを迎える会」を実施しました。これは、1年生の生活科学習で行われた交流活動です。1年生にとっては、年長児に学校の様子を紹介するなどの交流をすることによって、小学校に入学してから今までの成長を実感し、これからの学校生活に意欲をもち、新1年生を迎える準備をすることをねらいとしています。また、来入児にとっては授業体験をしたり、小学校の様子を知ったりすることで、入学してすぐに学校生活がスムーズにスタートできることめざしています。

当日は、鳴沢保育所（天野明子所長）等の来入児27名が参加。最初に、19名の1年生が、『迎える会』を開き、ペアを組んで自己紹介や握手を交わしました。とても和やかな様子で始まりました。次に、『学校紹介』では学校生活及び学習について、1年生がグループごとに発表。参加者は熱心に聞き入っていました。また、来入児はイスの正しい座り方や、鉛筆の正しい持ち方などの授業も体験。初めての経験に少々戸惑いもありましたが、横についた1年生にあれこれ尋ねながら、楽しく授業を受けていました。その後、『学校案内』では、グループに分かれて職員室や図書室等の学校施設を来入児の手を取りながら案内しました。最後に、『終わりの会』では、1年生から「入学したら皆で一緒に遊びましょう。」と来入児の入学を楽しみにしていました。

興譲館序章！ 伝統の始まり！！

都留興譲館高等学校

教育実践公開発表会

都留興譲館高等学校(上小澤仁志校長)では、1月28日(土)に都留市都の杜うぐいすホールにおいて「平成28年度教育実践公開発表会」を開催しました。



当日は、1・2学年と英語理数科が教育実践発表を、そして工業科の3年生が、専門課程で学んできた内容をもとに、1年間取り組んできた課題研究の成果を発表しました。それぞれの学科の特性を生かした専門性の高い内容の発表と、ともに動画の活用など質の高いプレゼンテーションは見応えがあるものでした。また、会場のロビーでは、生徒の作品が展示され、日頃の生徒と先生方の取り組みの成果を拝見することができました。当日の発表内容は次のとおりです。



電子工学科 「Christmas board の作成」

☆教育実践発表

- 1学年 「企業実習体験発表」
- 2学年 「第2学年 修学旅行 In Okinawa」
- 英語理数科 「大学連携 ～高校生が学ぶ教育学～」

☆課題研究発表

- 制御工学科 「ロボコン競技ロボットの製作」
- 環境工学科 「高校生ものづくりコンテスト(測量部門)」
- 機械工学科 「CAD/CAM」
- 電子工学科 「Christmas board の作成」

学習支援スタッフの派遣 ～吉田高等学校・教育ボランティア活動～



吉田高等学校（坂本明大校長）では、毎年2月に地域貢献（ボランティア活動）の一環として近隣の小中学校に「学習支援スタッフ」を派遣しています。同校ではこの事業を通して、高校の教育活動への理解を深めてもらうとともに、小中高の連携により地域全体の教育力向上を目指しています。平成20年度より始まったこの事業も今年度で9回目となりました。今年も3年生の進路決定者の中から教育系への進学を目指す生徒を中心に、19名が下吉田第二小学校・忍野小学校・

下吉田中学校において教育活動の支援を行いました。

主な活動内容は、小学校では授業中の学習補助や清掃・給食の手伝い、中学校では定期試験に向けて行う放課後補習の補助や高校の生活・学習についての話や相談の対応などです。参加者からは「初めは緊張したが、みんな『先生、先生』と慕ってきてくれて、一緒に学んだり遊んだり、とても貴重な体験ができてよかった。」「先生の仕事は、授業だけではなく、掃除・給食・連絡帳のチェックなど様々で、たいへんな仕事だとわかった。」「自分では理解できていることを、子どもたちにわかりやすく説明することがいかに難しいかを知った。」「自分が生徒の立場ではなく教える立場に立ったことで、先生方の責任の重さやたいへんさを初めて知った。人生の中でも、大事な経験をしたと思う。」などの感想が寄せられました。今までに「教育ボランティア」に参加した高校生の中には、実際に教員になることを目標に勉学に励んでいる者もいて、生徒が自分自身を大きく成長させる貴重な機会となっています。

高校の先生から学ぶ会 ～富士河口湖高等学校の中高地域連携交流事業～



富士河口湖高等学校（小石川正文校長）では、2月3日（金）に下吉田中学校（三井恵司校長）2学年の生徒を対象にした、「出前授業・高校の先生から学ぶ会」を実施しました。この交流事業は「高校の教員から授業及び講話を受けることを通して、高校での学習と生活について理解を深めるとともに、進路決定にあたり現在の自己のあり方を見つめ、将来の自己の生き方について考える機会とする」ことを目的としています。

高校からは、国語・社会（歴史）・数学・理科・英語の5教科の教員が下吉田中学校を訪れ、授業を実施しました。授業をとおして、高校での学習に対する心構えや取り組みについての話があり、また併せて授業以外での高校の様子についても話がありました。高校の先生から直接授業を受け、話を聴く機会を得たことに、中学生たちはどの子もみんな真剣な態度で臨み、興味をもって耳を傾けていました。来年度の進路決定に大いに参考となったことでしょう。

来年度の地推協主要事業の予定

北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）および南都留地域教育推進連絡協議会の平成29年度主要行事予定は次のとおりです。詳細については、改めてお知らせします。

○北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）総会・教育講演会

平成29年7月7日（金） 受付開始：午後1時30分 会場：上野原市文化ホール 2階会議室

○南都留地域教育推進連絡協議会総会・講演会

平成29年6月21日（水） 開始：午後2時 会場：富士ふれあいセンター

○南都留地域教育フォーラム

平成29年11月2日（木） 開始：午後1時30分 会場：下吉田中学校